

2 カワヤツメ

(ヤツメウナギ科)

兵庫県ランク:A

Lethenteron japonicum

環境省ランク:VU

種の概要

鰻型の細長い体型で成魚の全長は50 cm程度。アンモニーテス幼生を経て変態し、成魚になる。幼生は河川中・上流域で過ごし、秋に成長のため海に下る遡河回遊を行う。降海時には体色が銀白色になる。河川生活期の幼生は砂泥中のデトリタスを食べ、海に降りた成体は他の魚の血を吸血する。国内では日本海側は山口県、太平洋側は茨城県以北に分布する。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海に注ぐ但馬地方の数河川で確認されているが、個体数は極めて少ない。

写真提供: 本庄 規

保護上の留意点

サケ・マスと同様に遡河回遊を行うため、海と川との連続性が確保されて、海から成魚が産卵場所の河川中・下流域まで遡上できることが必要である。遡上を阻害する堰堤などには魚道の整備が求められる。産卵は中・下流域の礫底で行われるため礫底の瀬が必要であり、アンモニーテス幼生の生育にはスナヤツメと同様、流動性のある砂州の砂泥が必要である。

県内分布

豊岡市、香美町、新温泉町

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

